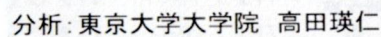


～嘆かず・居る人・在る物を活かして共同活動の推進～

三次市君田町石原集落

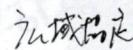
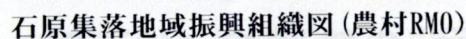


- ・広島県農業経営専門員
- ・広島県森林整備農業振興財団広島地域プランナー（6次産業化）
- ・広島県森林整備・農業振興財団農福連携コーディネータ
- ・県立庄原実業高校マイスター・ハイスクール事業CEO（R3～R5）
- ・元・島根6次産業化プランナー
- ・元・島根県6次産業化アドバイザー
- ・農村3セク 元・君田温泉森の泉（道の駅）設立 常務支配人
- ・海の3セク 元・広島県県民の浜 支配人
- ・山の3セク 元・呉市野高高原ロッジ 支配人

- ・古川充行政書士・測量士事務所
- ・合同会社なると(経営・地域振興)
- ・内閣府認定地域活性化伝道師
- ・石原集落中山間・多面・RMO事務局

曲家村 RMO

農業者と非農業者が一体となった共同活動で人も地域も元気

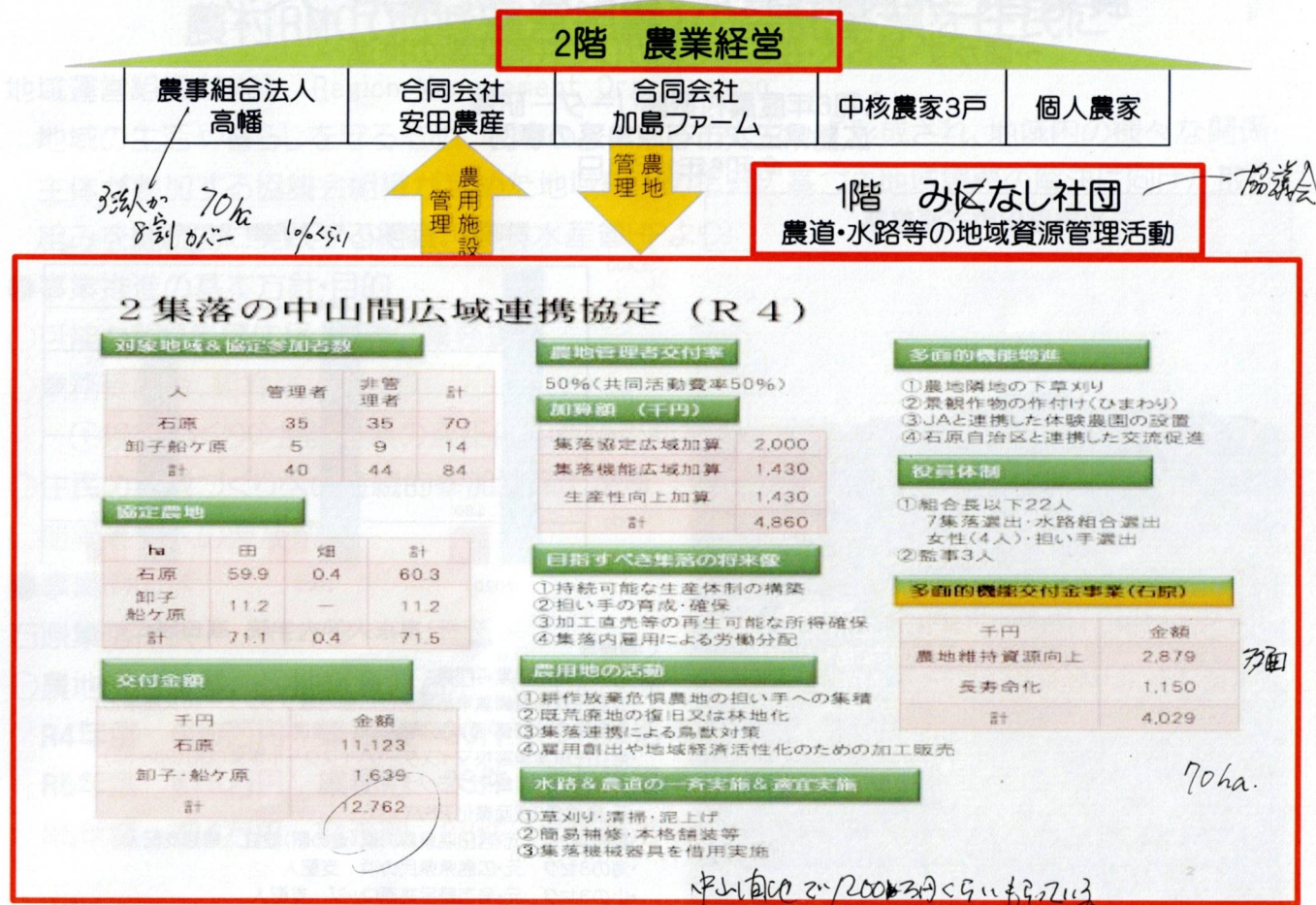


中山園, 77園,

役員ト共通

農事組合法人 347320

# 石原集落の2階建て“みなし社団(任意協議会)”



2024/11/26

3

## 石原集落“みなし社団”の集落づくり活動

①集落広報誌の発行 年6回 64号発行(令和6年10月)

②集落通貨券の発行 集落の6事業所が使用できる

●もち麦●アスパラ●霧里ポーク 豚肉

●雑貨商店●花卉(洋ラン)栽培●あんま屋

③女性の組織参加推進

中山間等協定組合役員 2人/17人中

石原農村RMO 3人/9人中

④空き家環境保全

⑤石原ひまわりの会活動支援 プロボラ人材と連携

⑥選奨応募支援及び補助金等の申請支援

2024/11/26

4

## 中山間交付金 & 多面交付金を活用した 2階建“みなし社団(任意組織)”による共同活動及び営農支援

①農用施設の保全管理活動(草刈り・泥上げ・修繕等)

②鳥獣害防止施設管理活動(箱罾管理・柵管理11基)

③法面雑草抑制活動

平成22年度開始

→ 3基のモニター有り。

④ドローンオペ研修費用助成

5名取得

⑤大型特殊免許費用助成

3名取得

⑥もち麦種子費用助成

50%

⑦人材育成研修費助成

旅費交通費

⑧プロボラ人材活動の推進

10名目標

⑨狩猟免許取得支援

3名

2024/11/26

5

### 農地保全の状況

#### ①集積状況

農事組合法人高幡

合同会社安田農産

合同会社加島ファーム

中核農家3者

個別農家

協定外不作付・放棄農地

集積・管理 67%

集積・管理 13%

集積・管理 20%

推定1%

#### ②作付け品目等

農事組合法人高幡

合同会社安田農産

合同会社加島ファーム

個別農家

・水稻(酒米)・アスパラ(もぎ取り体験)・もち麦・大豆他

・水稻(酒米)・もち麦(精麦販売)・もち麦後水稻2毛作

・水稻・飼料作物・養豚(霧里ポーク)

・水稻・少量多品目野菜



ヒート 雑草抑制

3~4000ha<sup>2</sup>

酒米 : ださい

2024/11/26

6

## 集落一体の鳥獣害対策

### ①プロボラ人材による巡回管理

箱罾 11基(うちITCカメラ設置3基)  
メッシュ柵 約15km

※プロボラ:会社等を退職された人の熟練したプロとしての技術や人なりの魅力、情熱のボランティア精神で日当を得て地域づくりに貢献する人。(プロ+ボラティアの造語)

### ②集落一体型防護柵の設置

- ・取り組み始めてから10年
  - ・役員会において実施個所、区間を決定する
  - ・鳥獣害対策基金と三次市補助金を活用
  - ・作業計画は、地区役員で決定する
- 事務局---作業員確保・日報作成・日当支払  
プロボラ---主体的に作業実施  
地区役員---地権者等の調整



プロボラ人材の管理活動



住民一体の防護柵設置作業

交付金の活用と成果:基金積立、事業実施費。個人負担無。  
プロボラ人材の臨機応変で細部の見廻りで被害が激減。

2024/11/26

負担  $\frac{1}{m^2}$

## 集落一体の農地法面の雑草作業軽減対策

### ①センチピート播種

- ・平成23年度開始
- ・5年ごとに実施計画作成
- ・令和10年度まで実施計画作成
- ・播種までの準備作業は協定参加者の共同活動で日当支払い実施
- ・1㎡当り約500円前後の費用であるが、1㎡の個人負担金50円

高刈にせよ → 10坪+α  
芝

年2回の草刈

① 除草剤・専任業者

のふりかけの費用

方面と中山間の  
不具合を解消



H23年播種法面



H24年播種法面



センチピート播種作業

交付金の活用: 基金と年度交付金を組み合わせて実施する。  
法面芝の緑が集落景観となっている。  
センチピート芝を施した農地には猪の被害がほとんどないようである。

2024/11/26

## ドローンによる作業の効率化

2機を共同導入と単独導入1機

- ・2社と2者が経営継続補助金の採択を受けて導入
- ・オペレータ5名取得(うち女性が1名)
- ・集落内外の農家からも散布受託を行い所得確保を図っている

**交付金の活用**：充電器、保管庫の整備費を行う。  
オペレータ受講料の50%助成。

## 集落営農の持続化

- ①大型特殊免許取得支援。
- ②行政補助金等の申請書作成支援。
- ③農用施設の修繕計画作成支援。

**交付金の活用**：免許取得費用の50%助成。  
農業の本業に集中できるよう行政対応を支援。

2024/11/26

9

## 生活弱者の除雪支援

集落の農業法人2社に委託し、軒先まで除排雪実施。

**交付金の活用**：費用の一部を助成。

## 集落通貨券の配布

知っているようで意外と知らないのが、身近なこと。  
地域を知り、ふれあい、事業者の売り上げに貢献する。

- ①1世帯5000円配付。
- ②集落内の5店舗で利用できる。アスパラ・もち麦・ブランド豚精肉・雑貨店・あんま



**交付金の活用**：事業者を訪問し、通貨券の活用で地域の魅力の気づきに繋げる中で、地域経済の循環に貢献。

2024/11/26

10

## 小集落で懇談会の実施

- ①高齢者、女性も参加しやすいようにする。
- ②日頃発言の場が少ない人の声を聞く。



**交付金の活用:**令和4年度は、5会場で実施した。  
子ども会議も行い、子ども目線から集落の魅力、夢など聞く。

## 集落女性による石原ひまわり会

- ①平成27年に集落女性の共同圃場畑設置。
  - ・鳥獣害対策のモデル圃場として管理
  - ・野菜の生産出荷
  - ・女性の交流の機会となり、集落づくり活動への参加意識の理解と高まり
- ②集落の男性が必要に応じた圃場管理作業を支援。
  - ・トラクター等の農機具作業・草刈り



**交付金の活用:**共同圃場借上料。研修研さんの参加費。  
集落女性活躍のシンボル組織。

2024/11/26

11

## 年6回の広報誌発行

- ①平成23年3月に1号発行し、現在まで64号発行。
  - ・全戸に配布
  - ・集落の多様な動き、話題を紹介
  - ・自治連の広報誌等にも寄稿し集落の動きを広域的に発信

**交付金の活用:**地区役員が配付。

## 無料相談会の開催

- ①集落人材、専門家による無料相談会を開催。
  - ・相続・農地・暮らし・その他

**交付金の活用:**支援専門者の報酬。

## 基金積立で事業計画推進

- ①鳥獣害対策基金
- ②雑草対策基金

**交付金の活用:**持続可能な対策実施のために100万円～200万円基金積立。

2024/11/26



## 石原ひまわり会の活動

鳥獣被害に強いモデル園場の拡大とこれを突破口に  
集落づくりにおける女性の役割り向上に向けて

### 石原 ひまわり会



鳥獣被害防止モデル園場  
約8a

猪など鳥獣  
侵入防止柵

夏野菜  
なす・きゅうり等  
約15種類程度

出荷で  
所得分配!

秋野菜  
白菜・大根・  
キャベツ等

冬野菜  
玉葱等

モデル園場管理活動

活動の目標

1. 鳥獣被害防止の推進と普及
2. 畑作物の直売者の拡大
3. 農産物を活用した商品づくり
4. 交流活動の拡大
5. 集落づくりへの女性の参画推進

2024/11/26

13

13

## 選奨応募支援及び補助金等の申請支援

### 選奨応募支援

#### ①石原集落

平成27年度 多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長表彰最優秀賞(中山間事業)

#### ②合同会社安田農産(君田町石原)

令和2年度「デスカバー農山漁村(むら)の宝」中国四国農政局奨励賞

#### ③農事組合法人高幡(君田町石原)

令和3年度「デスカバー農山漁村(むら)の宝」中国四国農政局奨励賞

#### ④石原集落

令和5年度 多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長表彰最優秀賞(多面的機能)

#### ⑤石原ひまわり会

令和6年度「デスカバー農山漁村(むら)の宝」応募中(農水省)

#### ⑥石原集落

令和6年度農業農村優良地区コンクール応募中(農水省)

### 補助金等申請支援

#### ①令和2年度持続化給付金(コロナ対策)

売上減少・家賃(農地)給付

#### ②令和2年度経営継続補助金(コロナ対策)

4社共同申請でドローン2機整備

#### ③令和3年度事業復活支援金

#### ④令和3年度広島県頑張る中小事業者月次支援金

#### ⑤市・土地改良区・商工会等の各種補助金・助成金

### 法人経営・集落づくり支援

#### ①労務管理支援

#### ②組織変更

#### ③ブランド化、販売促進

14

# 農村RMO(地域運営組織)の委託事業を住民に

地域運営組織(RMO) Region Manegement Organization

地域の生活や暮らしを守るため、地域の人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議会組織が定めた地域経営の指針に基づき地域課題の解決に向けた取り組みを継続的に実践する組織。(農林水産省HPより)

## ●事業推進の基本方針・目的

○可能な限り集落住民、組織に業務委託

○業務受託者、組織強化づくり

①規約づくり②会計記帳の適正化③業務委託契約の締結

○住民の地域づくりへの持続的参加意識の定着

○地域経済への波及効果

## ●事業の内容

石原集落採択 R4年度～R6年度

○農地保全事業 ○地域資源活用 ○生活支援

R4年度 635万円 業務数 20件 うち集落・町内委託 14件

R5年度 678万円 業務数 23件 うち集落・町内委託 15件

R6年度 776万円 業務数 28件 うち集落・町内委託 22件(予定)

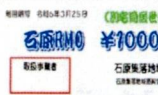
石原集落:  
3年目  
12/160037の取組

2024/11/26

15

## 石原農村RMO 全体プロセス (取組実績とその効果)

石原集落地域振興協議会 (広島県三次市)

|        | 1年目 (令和4年度)                                                                                                                                                                                                                                                                           | 2年目 (令和5年度)                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 3年目 (令和6年度)        |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 取組の総括  | <p>・将来ビジョン作成に向けて、全住民アンケート、人口予測、地域別懇談会、年代別ワークショップ等を実施。集落の強み・弱みの把握や、参加意識の向上に繋がった。</p>                                                                                                                                                                                                   | <p>・1年目に作成された集落将来ビジョンに基づき、取組3分野の解決に向けて、16の事業を行った。このうち13の事業を集落の組織等の活動で行い、住民の本事業への理解を深めることができた。特に、次代を担う若手の集落課題に向き合う人材が多くなっている。</p>                                                                                                                                                                        | <p>・(3年目以降に記載)</p> |
| 農用地保全  | <p>・地域の農家と非農家が一体となった二階建方式による農地保全の仕組みづくりの検討。<br/>⇒交付金を減資にした共同活動や、一般社団法人化に向けた組織活動によるメリット・デメリットの理解を図ることができた。</p>   | <p>・集落営農の共存共栄や効率的な営農のためのスマート農業推進研修会を開催。<br/>⇒ドローンの利用による散布作業が8.2haとなった。ドローンオペレーター1名の養成を行う事ができ、利用拡大と共にオペレーター不足の解消に繋がりは始めている。</p>   | <p>・(3年目以降に記載)</p> |
| 地域資源活用 | <p>・未利用野菜の直売に向け、NPO法人とも連携した実証事業の実施。<br/>⇒毎週火曜日に広島市内の障害者就労事業所から集荷に来てもらい、直売を実施。作付け・出荷意欲向上、生きがい等に繋がった。</p>         | <p>・集落ブランドもち麦を利用した、もち麦入りの餅、煎餅の商品開発。<br/>⇒健康志向を背景に消費拡大を図り、集落ブランド力の向上を目指し、加工品を道の駅、JA直売所等での販売を開始をした。</p>                            | <p>・(3年目以降に記載)</p> |
| 生活支援   | <p>・地域事業者と連携した除排雪の実証実験、空き家の調査及び保全活動への取組。<br/>⇒除排雪を行い、安全安心な暮らしを検討した。また、空き家の利用促進により、障害者就労所としての利用目的がわかった。</p>      | <p>・地域通貨発行による地域経済循環の拡大、買い物支援や生活弱者支援の検討。<br/>⇒プレミアム付き通貨券の利用を通じて、地域の大切な事業活動の展開を理解し、持続的に住民が支えることへの意識を高める。</p>                       | <p>・(3年目以降に記載)</p> |